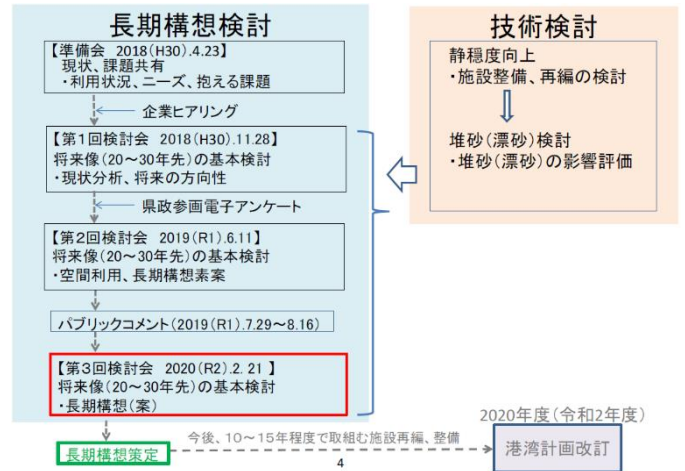


第3回鳥取港長期構想検討委員会の開催について

令和2年2月25日
空 港 港 湾 課

鳥取港の20～30年先の物流・人流など総合的な港湾の将来像や空間の利活用をとりまとめた、長期構想を策定するため、第3回鳥取港長期構想検討委員会を開催しましたので概要を報告します。

- 1 日時：令和2年2月21日（金）
13:30～15:30
- 2 場所：賀露地区公民館 3階会議室
- 3 委員：日本港湾協会理事長
鳥取大学学長顧問
鳥取大学准教授
日本通運(株)部長
(株)富士ユニコン取締役
小型船婦人部会長
鳥取市副市長
賀露地区公民館主事 外4名



4 内容：
第2回鳥取港長期構想検討委員会で提示した鳥取港長期構想(案)に対して、委員からの意見とパブリックコメントで寄せられた意見を反映した内容について討議を行いました。

(1) パブリックコメントで寄せられた主な意見

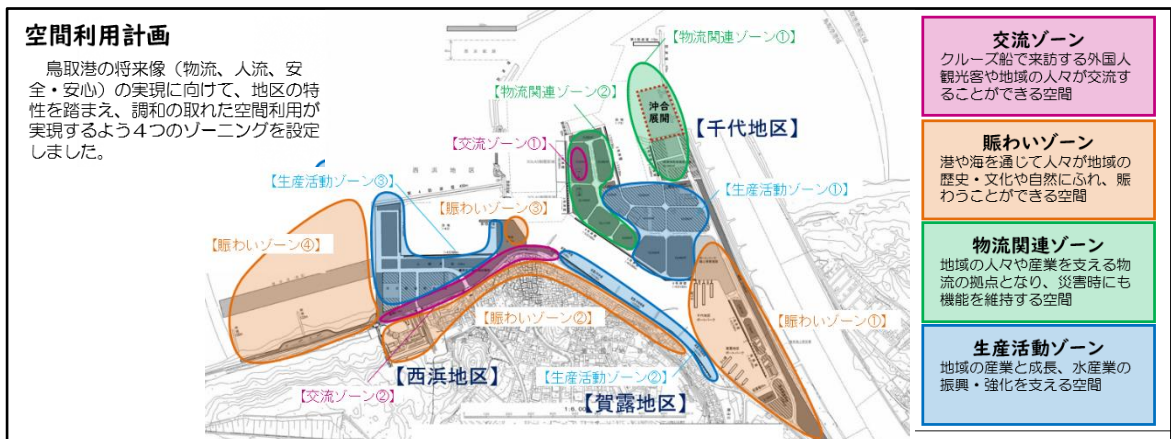
実施時期：令和元年7月29日から8月16日まで
応募件数：6件（応募者数4人）

主な意見	反映内容
・モーダルシフトの推進、機能強化を図ってほしい。	・貨物動向も踏まえ、航路誘致等行っていく。
・公園の整備等で若者や家族連れが楽しめる場所にしてほしい。	・令和2年度より緑地の再編を予定している。
・鳥取砂丘への影響が心配。	・各関係機関が連携して鳥取砂丘など周辺海岸への影響を調査し、『鳥取沿岸の総合的な土砂管理ガイドライン』に基づき対応していく。

(2) 第3回委員会での委員からの主な意見

- ・今回の長期構想をもとに港湾計画を改訂していくことになるが、中・長期的に取り組んでいく港湾整備についてもなるべく早期に取り組んでいくこと。
- ・山陰近畿自動車道（鳥取～福部間）について、鳥取港に一番近いルート案に決定したことから、この道路を有効に活用して鳥取港が発展してもらいたい。

(3) 鳥取港長期構想イメージ



5 今後の予定

今年度策定される長期構想（3月公表予定）に基づき、概ね10～15年程度で取り組む整備、施設再編を示す港湾計画の改訂を令和2年度に予定しています。

○鳥取港の課題対応

